

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案


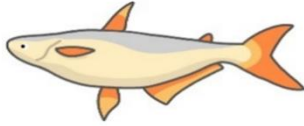

【実践者】

授業者氏名	口岩 竜馬	学校名	江別市立江別中央小学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	5年1組・5年2組（32名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2023年11月20日～12月22日（12時間）		




【実施概要】

1. 単元名(活動名)：「守ろう！私たちの環境」（くらし）						
2. 実践する教科・領域：		3. 学習領域				
総合的な学習の時間（ふれあいタイム） 5学年 くらし領域			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：						
<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に関心を持ち、それを意欲的に調べ、様々な要因が関わって問題が起きている事を理解する。 ・環境問題が地球規模の問題であることを理解するとともに環境保全について考えることができるようにする。 ・身の回りの環境問題や世界各地の環境保全への取り組みについて調べ、自分事として表現することができる。 						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	多様な環境問題は自分たちの生活とも深いかわりがあることや、様々な要因が関わって起きていることを理解する。				
	②思考力、判断力、表現力等	身近な環境問題やエコ活動に関心を持ち、環境問題を自分の問題として捉え、必要な情報を集めたり選んだりして課題解決に取り組むとともに、調べたことを分かりやすくまとめたり、相手に関心をもってもらえるように工夫して伝えたりしている				
	③学びに向かう力	環境保全のために自分でできることに取り組むことを通して、自分と身近な環境との関わりを見直そうとしている。				
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>本校の総合的な学習の五年生では「リサイクルについて」であったが、学年裁量によるものが多く今回新たに単元を設定させてもらった。もともと20時間のリサイクルについての学習であったが、リサイクル業者や、工場見学が主の内容であった。しかし、コロナ禍において見学やゲストティーチャーの来校が難しい状況であり、実質の進行為が難しい内容であった。今回の研修を切っ掛けに、本単元12時間と、新たに江別市の環境への取り組みを8時間で編成を行い学習を進める事になった。</p> <p>【児童観】</p> <p>男子16名、女子16名の計32名。内、特別支援対象児童9名。学年全体として学力が低く、特に国語・算数については評定1の児童が多く、学習に困難を抱える児童が多く在籍している。ただ、仲間と協力して課題をやり遂げる傾向が強く児童同士の仲は良く、学級を超えてともに過ごす様子も多く見られる。5年開始時は、漢字や計算の基礎など、すぐにあきらめる傾向にあったが、休み時間や朝の補習で少しずつ自信をつけ始め、粘り強く取り組む子が増えてきたように感じている。これまでの5年生の学習「教えてあなたのこと」や「きいて、きいて、きいてみよう」の学習や学級会や宿泊学習の準備などでも「話し合う活動」を行ってきた。自分の意見をいう事に抵抗はあまりなく、積極的に発言できる児童が多い。その反面、「聞く」</p>					

	<p>ことにおいては、課題があり「自分の意見」に固執しより良い意見を形成するまでに至らないことが多い。「聞く」のテストにおいても、おちついてしっかり聞くことができず、点数が低くなってしまう児童も多数いる。</p> <p>【教材観】</p> <p>○本時において</p> <p>今回のシミュレーションは、現在の世界の漁獲量をかなり単純化したものである。</p> <p>まず、世界の海産資源量を予測されている8～20億トンの所を最大の20億トンとし、全世界の海産資源を200の魚カードと単純化している。</p> <p>また、毎年の漁獲量は国別漁獲ランキングから比例計算して数値を出している。魚の回復については、魚の種類によって違うが代表的な食用魚（サンマ・マグロ・タイ・鯖・イワシ・真鯛など）の卵から食用まで成長する年数と産卵数の平均として、2年でその個体数の約33%分しか増えないという値を架空の魚で設定している。</p> <p>国の人数と2021の各国漁獲量ランキングを参考に数値を振り分けている。</p> <p>小学生でも理解できてわかりやすい値を出しているためかなり簡略化している事も児童にはしっかりと伝えなくてはならない。</p>		
7. 単元計画（全12時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題について興味を持つ。 また様々な環境問題があることに改めて気づき、環境問題がそれぞれ関わり合っていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 2050年に関わる動画を視聴し、「2050年南極の氷が解けると」「2050年水資源の枯渇」「2050年の平均気温」「2050年、魚がいなくなる？」「2050年食料危機」の五つをランキングにし、順位をつけたその理由を班で話し合う。 	<p>NHK 動画「地球のミライ」から「2100年に待っている未来」</p> <p>「2050年の天気予報」(WMO)</p>
2 3 本時	<ul style="list-style-type: none"> 水産資源の有限性を知ることができる。 各国で協力しなければ水産資源が枯渇してしまう現状を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 漁獲シミュレーションゲームを行い、その後動画を視聴し乱獲による水産資源の枯渇と、プラスチックなどによる海洋汚染が広がる事を理解する。 	<p>ゲーム資料（本時に記載）</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> マイクロプラスチックによる海洋汚染の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室にあるプラスチック製品を探す マイクロプラスチックによる被害を受けた生き物になり、ロールプレイを行う。「海の生き物会議」 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動について理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> 「地球温暖化すごろく」を使用し様々な要因が重なって気温上昇・地球温暖化が起こっている事を理解する。 	<p>地球温暖化すごろく（出典：岡崎綾「[実践] 温暖化と私たちの暮らし」</p>
6 7	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスについて理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> 本校栄養教諭と連携し、給食の残食がどこに行くのか、また給食センターの様子の動画視聴を通じてどのように食品ロスを少なくしていくのかを学習する。 	<p>本校栄養教諭 三浦おりえ</p> <p>「食品ロスはいけないの？もったいないをなくしたい」より</p>
8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、自分達の学習成果をポスターにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで、一番興味を持ったテーマを選び「改善に向けた取り組み」「自分達でもできる事を」中心にポスター作製を行う。 	
11 12	<ul style="list-style-type: none"> ポスターセッションを通じ、様々な環境問題やこれからのに向けた取り組みがある事を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年・また保護者に向けて環境ポスターについてのプレゼンテーションを行い、これからの環境についての交流を行う。 	

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
<p>導入 (15分)</p>	<p>1. 前時のふりかえり</p> <p>「前回、2050年の問題について考えました。2048年までに魚がいなくなるという話でしたが、本当にいなくなると思いますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当にいなくなりそうで不安 ・本当にはならない、魚が進化したりする・・・ ・何か科学で解決する道具が出てくる。 <p>2. 漁獲シミュレーション</p> <p>惑星チウキからの手紙を紹介 (PPT)</p> <p>「今日は、ある人から手紙をもらいました。惑星チウキという地球に似た惑星に住むトックというおじいさんからです。しかも2100年のミライからの手紙です。」 以下内容</p> <p>①とても自然豊かできれいだった惑星チウキ、この星にはパンガという魚があり、4つの国はこのパンガを捕って生活していた。</p> <p>②しかし、2023～2050年の間に惑星チウキに様々な事が起き、パンガが絶滅してしまった。中には絶滅してしまう国もあった。</p> <p>③地球の子よ、お願いがある。2023～2050にチウキに何があったのか体験し、できるならばパンガを一匹でもいい、残してほしい。2100年の今、クローン技術で一匹でもいいばパンガを復活することができる。</p>	<p>事前に SDG s カードを配布</p> <p>PowerPoint 資料抜粋</p> <p>～惑星チウキからの手紙～</p>  <p>わしは惑星チウキで漁師をしているトックという者じゃ。今、チウキ暦52315年 みなさんの住んでいる地球だと西暦2100年になる。</p> <p>地球に住む、未来をつくる子どもたちよ・・・ どうかわしの願いをきいてほしいのじゃ・・・</p>  <p>チウキの魚は「パンガ」という名前じゃ。惑星チウキに200万匹おった。約3年間で卵を産み 30%回復するとてもおいしい魚じゃよ・・・みんなにも食べさせたいのう。</p> <p>地球に住む 若者たちよ・・・お願いじゃ・・・</p> <p>2023年から2050年にチウキに「何が起こったのか」を体験し、できるならば・・・一匹でもいい！パンガを絶滅させないで残してほしいのじゃ！！</p>	<p>SDG s カード</p>  <p>裏に国名</p>

<p>展開 (5 5 分)</p>	<p>☆今日のミッションの確認</p> <p>今回のミッション ☆ 惑星チウキの漁師となって魚を捕って2050年まで暮らしてみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・惑星チウキにどんな事が起こったのかを知ろう。そしてチウキの人達がどんな思いをしたのか感じてみよう。 ・できるならば・・・少しでも多くのパンガを残そう！ <p>です。</p> <p>～各国のチーム分けスタート～</p> <p>国の作り方</p> <p>SDGs カードの後ろに4つのあいさつが記入 「ナカナカ」「ヒノヒノ」「コメコメ」「ナムナム」 (各国A・Bまでカードに記載)</p> <p>あいさつが同じ人は同じチームになり、座る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒノヒノ国 A・B 青 ・コメコメ国 A・B 黄 ・ナカナカ国 A・B 白 ・ナムナム国 A・B 赤 <p>各国 4名×A・Bで 8名</p> <p>「では国の代表者1名、封筒を取りに来てください」それぞれの国の状況確認(封筒の中身)</p>	
<p>○ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国から代表者を出して自分の国のお魚ボックスから1枚ずつ指示カードを引く。 ・とったカードの指示に従い、中央からお魚カードを取って、その国の必要な分は消費BOXに入れて国民の満足を保つ。 ・もしも、魚が足りないターンは満足ゲージが一つ失われる。 ・4つの国が終わったら3年ずつ進む。次の漁はベルで合図される。 ・1ターン(3年分)で、漁量回復 残っている魚の数の30%が回復する。 ・中央の魚が全てなくなってしまうと終了。また、満足ゲージがなくなった国はそこで終了。 <p>※チウキはこの国のお金です。上手に使いましょう。</p>	<p>ヒノヒノ国</p> <p>小さな国だが人口は多い 昔からパンガを食べて暮らしてきおり、パンガを大切にしてきた。最近では「シーサー」というパンガを使った料理が大人気で、国民のパンガを求める数も増えてきている。ヒノヒノ国を満足させるには一度の漁で4万匹必要 初期所持金 50チウキ</p>	<p>ナムナム国</p> <p>小さな国で人口も少ないが、パンガ大好き国家でほぼパンガで食事が成り立っている。国民のパンガへの愛は強く、一度の漁で必要なのは5万匹。初期所持金 50チウキ</p>
	<p>コメコメ国</p> <p>広大な土地を持つ国だが、パンガをあまり食べない。人口も多いが、他の物を食べる国民が多い。ただ、この国は色々なことが変わりやすく、飽きっぽいらしい・・・いつかパンガブームがやってくるかも？一度の漁に必要なパンガは2万匹。初期所持金は200チウキ</p>	<p>ナカナカ国</p> <p>チウキの中でも最大の面積と人口を誇る大国。国民を満足させるには、大量のパンガが必要となるが、最近では養殖の開発にも乗り出し、何とか国内の不満を失くしていきたい。 満足度は一度の漁で12万匹必要 初期所持金 200チウキ</p>

<p>2023～2025</p> <p>1ターン目（ルール説明を兼ねる） 全体で確認しながら進める。平均漁獲高なので、回復時に200万匹以上の数となる。（くじ引きではなく、1枚目は指定カードを渡す）各国のメーターも不満がない状態。</p> <p>2026～2029</p> <p>2ターン目 魚が不足する国が出る可能性あり ○全体イベント発生 海へのプラスチック問題が発生（ニュース形式の自作動画を流す） ここから 他国との交渉 国ごとイベントカードの発生</p> <p>2030～2032</p> <p>3ターン目以降、徐々にパンガが減っていく。</p> <p>2033～2044</p> <p>4～8ターン 終了後 次のターンを同じように続けるとパンガがいなくなる。同時に国の満足ゲージもあと1・2回ですべてなくなる国が出てくる。</p> <p>2045～2047</p> <p>全体イベント 緊急ニュース 「プラスチックごみをなくすために、新たな開発が行われます。しかし、ごみ除去に400チウキが必要です・・・どうしますか？」</p> <p>各国の代表がそれぞれの国の意見をまとめて、中央に集合。 400チウキ集まれば、プラスチックごみの流失が止まり、パンガ数50が回復。</p> <p>⇒</p> <p>最終結果 14匹 パンガ生存</p> <p>2050年</p> <p>最終ターンの結果を共有 ゲーム終了</p>	<p>チウキ（お金）</p> 	<p>指示カード</p>   <p>プラスチック問題（ニュース動画） 「各国からプラスチックのごみが海に流れ出ている様子です。パンガがマイクロプラスチックを食べ、死んでしまったり、食べられなくなったりしています。その数は10万匹にのぼるそうです。」以下、ターンごとに中央から10枚パンガを捨てなければならない。漁獲高46匹ベースから56ベースへ。</p> <p>イベントカード 内容それぞれ1～2枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖に成功！中央とは別に2匹パンガをもらえる。 ・自国からプラスチックが更に発生パンガを1匹すてるか？20チウキで除去するか？ ・温暖化の影響で、あなたの国の周りのパンガが移動してしまった！ナムナム国へパンガを1匹あげる。 ・あまりにきつい漁の仕事に、なりてが減ってしまった・・・1匹中央に戻す。 ・不正に漁に出ることができる。みんなには内緒で、中央から3匹パンガを捕ることができる。 <p>※コメコメ国のみ 「シースーブーム到来、パンガ大人気必要な数が3倍になる（6匹必要）」</p>
---	---	--

	2023	2026	2029	2032	2035	2038	2041	2044	2047
パンガ数	200	201	194	188	181	167	154	119	82
ヒノヒノ	8	9	6	6	9	8	11	10	6
ナムナム	10	9	9	8	9	9	12	12	14
コメコメ	4	2	4	2	4	2	4	3	3
ナカナカ	24	22	20	23	21	20	26	21	26
総漁獲	46	52	49	49	53	49	63	56	59
引いた数	154	149	145	139	128	118	91	63	23
回復量	47	45	44	42	39	36	28	19	7

回復量は引いた数×0.3 端数は繰り上げで計算
 黒板掲示用 各国5つのマグネットで満足メーターを表す
 各国総漁獲量（AB合わせ）46＋ゴミ発生で10⇒ 平均56匹ペースで進んだ時の総パンガ数予想

<p>まとめ (20分)</p>	<p>3. シミュレーションの振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発問：今、どんな気持ちですか？3つの中から選んでください。 「うれしい」「悲しい」「複雑」</p> </div> <p>「うれしい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンガが残ってよかった。 ・チウキが足りてよかった。 ・トックさんにパンガを渡せるからよかった。 ・ほかの国と助け合えてよかった。 <p>「悲しい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これしか残せなかった。 ・パンガがどんどん減っていて悲しくなった。 <p>「複雑」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンガは残ったけど、このあとどうなるんだろう ・このままのペースで進んでいくと、魚はいなくなると思う。 ・地球でも同じようなことになるかな・・・ 		
----------------------	--	--	--

発問：チウキにはどんな問題がありましたか？

- ・魚を捕りすぎてしまう。
- ・プラスチックごみの問題
- ・温暖化
- ・漁師のなり手不足
- ・密漁、不正漁業
- ・その他、国同士のもめごとや

発問：よかったことはどんなことですか？

- ・養殖に成功した。
- ・他の国が助けてくれた。
- ・プラごみを減らす時に、すべての国が協力できた。

発問：私たちの地球と比べるとどうでしょうか？似た所、違う所はどんな所ですか？

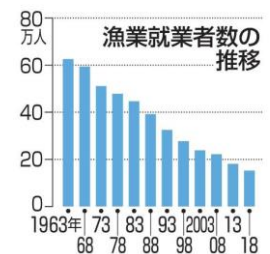
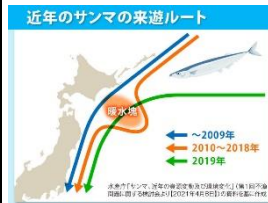
現在、地球が抱えている漁業の問題にかかわる写真を配付し比較してみる。

発問：今回の学習はSDGsの何番と関連したと感じましたか？またトックさんに手紙を書きましょう。

班での意見交流⇒全体交流
感想用紙に感想を記入し、授業終了

漁業問題 資料写真

- ・一度に大量に捕る
- ・海洋ゴミ
- ・漁業就業者がへっている
- ・温暖化による魚の移動 など



9. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)

- ・漁獲シミュレーションを通じて、国によってかなりも漁獲量の差がある事を実感する。(発言等)
- ・世界の海産資源が有限である事を知り、持続可能な漁業について考える。(感想・ワークシート)

10. 学習方法および外部との連携	
<外部との連携>	本時：石狩漁協組合への取材、以前担任した児童の保護者である漁師の方への取材 単元：栄養教諭との連携、中学理科講師からの教材の提供
<学習方法>	本時：シミレーション 単元：ダイヤモンドランキング ロールプレイ 協同的な学習隊形 すごろく型ゲーム ポスターセッション など
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・学内では5年生1組・2組で実施。 ・校内の一人一実践授業として公開授業形式とした。 ・ポスターセッションは参観日に公開し、広く保護者や地域の方に広める予定。 ・作成したポスターを玄関掲示し、校内に普及。 ・所属する団体などでの指導案検討、授業公開 	

【自己評価】

12. 苦労した点	<p>・当初は何の仕掛けもなく、ただ単純に魚が減っていくだけのシミュレーションを考えていたが、そこには児童が思考する場面がなく単調なものであった。次にゲーム性があり、児童の思考を促したり、希望のある未来にするためにはどのような活動があるかが、非常に苦労した点であった。魚についても、各魚介類で現状が違い、また年によっても変動する魚がいる。そこで、架空の魚を設定し、色々な魚介類の様々な問題を一つに集約させた。漁獲量や人口の数値も魚の回復量も世界各国で変動していくため、基準値の設定が困難であった。児童に実感させる数値かつ、実際の地球上の動きに迫る数値を見つける事が難しかった。</p>
13. 改善点	<p>・できるだけ、小学生でもできるようにルールを明確かつシンプルにしたつもりではあったが、やはり戸惑う児童もいた。グループ学習で、普段指導している児童だからこそこちらの意図をくみ取り、学習が成立したようにも感じている。</p> <p>できる限りルールの単純化と、使う用具の精査。児童の国同士の交流をもっと活発化できるアイテムなど改良の余地は沢山見えてきた。</p> <p>・最後の感想用紙には「トックさんへ手紙を書こう」にしたが、感情論が多くなり、学習のまとめとして適切であったかが反省点である。最後にふりかえりシートには、もう少し「これからの未来」について記述させたほうが良いように感じた。</p>
14. 成果が出た点	<p>・何よりも、楽しんで児童が活動し、その上でこのまま何もしなければ、本当に魚がいなくなってしまうかもしれないという危機感を持てた事。また、危機感だけではなく、救える未来や新たな活動について希望の持てる感想を得たことが大きかった。</p> <p>どうしても悲観的なテーマになりがちだが、「国と国が協力すれば、食い止められるかもしれないと思う児童が多かったことが大変うれしく感じた。</p>

15. 学びの軌跡
(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)

「トックさんに手紙を書いて見よう」から

トックさんへ
今日チウキで起きたことを体験して
みたら大変でした。環境の問題が
あたりして大変さが分かりまし
た。地球でも同じ様な問
題が起きてても大丈夫にするため
にがんばります。

トックさんへ。
今日、私たちは、SDGsについてじぎょうをおこないました。
トックさんの国のパンがなんとかけひき残せましたよ!!
今日のじぎょうを起こなって地球温暖化のえいぎょうでい
おきることなどがトックさんのおかげでわかりました、
今日のじぎょうはご協力ありがとうございました!!

今日はできるだけ多くの魚をのこそう、というけんぎょうをして、これからの地球に大切
なことがよくわかりました。SDGsのことがよくわかりました。これから、自分にできることを
さげして、行動していきたいと思っした。今日はみんなで協力できました。
今日はすごくけんぎょうになりました!

トックさんへ
私達は、2050年までに、14匹きしかとれませんでした
これからの未来では、こんな事が起きてしまうんだ!!と
思えました。未来で、プラスチックが海に流れてしまて、
魚が絶滅してしまるかもしれないので、これからも、
SDGsを続けたいと思います!

その他、印象に残った児童からのワード

「地球の住民として頑張ります。」
「トックさんががんばって漁業を続けてほしい」
「プラごみをもっとなくさなきゃだめだ。でも、まだやり方がわからない事が多い」
「地球の未来がすごく心配になりました。」
「ゲームをやってみて、やはりSDGsは大事なんだっ
て思いました。」
「自分は魚を守るんだって言ってたけど、実際にやったらこんなに大変なんだっ
て思った。」
「みんなで頑張らないとクリアできない…協力しないと!」
「こんなこと、ほんとに地球
に起こったら嫌だな…でも、もう起きてるのか…」

	<p>今回の授業、SDGsの何番に関連すると思いますか 結果（複数回答可）</p> <p>1：貧困をなくそう 5名 2：飢餓をゼロに 3名 3：全ての人に健康と福祉を 1名 6：安全な水とトイレを 4名 10：人や国の不平等をなくそう 8名 11：住み続けられるまちづくりを 1名 12：つくる責任 使う責任 7名 13：気候変動に具体的な対策を 13名 14：海の豊かさを守ろう 28名 15：陸の豊かさを守ろう 3名 16：平和と公正をすべての人に 18名 17：パートナーシップで目標を達成しよう 19名 となった。</p>
16. 授業者による自由記述	<p>これまで、何度かSDGsや環境に関わる授業を行ったことがあるが、いまいちしくりと来るものがなかった。授業を行ったあとの何日かで、いつのまにか環境問題やSDGsは単なる情報にしか過ぎなくなり、どこか別の世界で起こっていることのように児童たちは感じているのではないかと思った。実際にシミュレーションして、体験して実感させる授業はないかと常々考えていた。JICA北海道と連携して行った「SDGs普及のための授業開発プロジェクト」に参加し、ベトナムを訪問した。その際に出会った伝統漁法を続けるおじいさん取材する機会があった。彼は必要な分だけ魚を取り、決して取りすぎず足りない分は我慢すればいいと話していた。別れ際に、街からの工業排水で汚れてきた沼を悲しそうに見つめ、「捨てるほど捕って、川も汚れて・・・このままでいいのか」とつぶやくおじいさんの姿がずっと忘れられなかった。いつか、子ども達に伝えたいと思っていた事が今回の授業作りのきっかけとなった。今回の授業後、何日かしてから「先生、あのね、この間の授業の話家族でしたんだ。うち、いつもご飯中テレビつけてるんだけどね。この話はね、ご飯中なのにテレビ消してみんなで話したんだよ。」とある児童が話してくれた。この児童は特別支援対象児童で、授業が終わったあとに、すぐに「今日楽しかった！」と話しかけてきた児童である。家族にも伝わったのであれば、こんなに教師として嬉しいことはないと感じた。</p>

参考資料：

- ・『SDGsで考えよう 地球のごみ問題 見すごせない！海洋プラスチック問題』

編者：グループコロンブス 発行所：童心社 2021年

- ・『漁業から見る海の環境』

監修：水谷 広 発行所：小峰書店 2009年

- ・HP グローバルノート - 国際統計・国別統計専門サイト

<https://www.globalnote.jp/post-6999.html>

- ・HP 今更聞けないゴミ問題

https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2020/43293/ocean_pollution/

- ・動画 [地球のミライ] 2100年に“待っている未来”

| NHK スペシャル「2030 未来への分岐点」暴走する温暖化 “脱炭素” への挑戦 | SDGs | NHK

<https://www.youtube.com/watch?v=f6J3gptt76I&t=4s>

- ・動画 世界気象機関(WMO)：2050年の天気予報(NHK)

<https://www.youtube.com/watch?v=NCqVbJwmyuo&t=2s>

- ・動画 プラスチックの海

<https://www.youtube.com/watch?v=uizJaBHyZ-8&t=285s>

～惑星チウキからの手紙～



わしは惑星チウキで漁師をしているトックという者じゃ。
今、チウキ暦52315年
みんなの住んでいる地球だと
西暦2100年になる。

地球に住む、未来をつくる子どもたちよ・・・
どうかわしの願いをきいてほしいのじゃ・・・

惑星チウキ



わしの住んでいる惑星チウキはそれはそれはきれいな星じゃった。海もきれいで、わしは魚をとって暮らしていた。



チウキの魚は「パンガ」という名前じゃ。
惑星チウキに200万匹おった。
約3年間で卵を産み 30%回復するとってもおいしい魚じゃよ・・・みんなにも食べさせたいのう。

チウキには4つの国があったんじゃ。

「ヒノヒノ国」 「コメコメ国」

「ナカナカ国」 「ナムナム国」

それぞれパンガをとって暮らしておった・・・



ところがじゃ・・・

2023年から 2050年の間・・・

惑星チウキに、そして4つの国に、様々なことがおこったのじゃ・・・

あれだけおったパンガも・・・2050年に絶滅してしまった・・・パンガだけではない。

中には、滅亡してしまった国もあったのじゃ・・・

地球に住むこどもたちよお願いじゃ・・・

2023年から2050年にチウキに「何が起こったのか」を体験し、

できるならば・・・

一匹でもいい！

パンガを絶滅させないで

残してほしいのじゃ！！

2100年のチウキでは、クローン技術で一匹でも残っていればパンガを復活できる。
(できるならば多い方がいいのじゃが・・・
30?いや・・・20・・・10・・・)

一度、絶滅してしまったものは、もう元には戻らない・・・

わしはまたチウキにパンガを復活させたいのじゃ・・・

地球の子どもよ・・・惑星チウキもいつか魚がいなくなると警告はあったんじゃ・・・
しかし、わしは何もできなかった・・・

口岩先生に2023～2050年、チウキに何があったか体験できるように頼んでおいた。

わしらのチウキと同じく、パンガが絶滅しない事祈っておる・・・

トックより

今回のミッション

☆惑星チウキの漁師となって魚を捕って2050年まで暮らしてみよう!!

・惑星チウキにどんな事が起こったのかを知ろう。
そしてチウキの人達がどんな思いをしたのか感じてみよう。

・できるならば・・・少しでも多くのパンガを残そう!

です。

○ルール

・お魚ボックスから1枚ずつ指示カードを引く。

・とったカードの指示に従い、中央からお魚カードを取って、その国に必要な分は消費BOXにいれて国民の満足を保つ。

・もしも、魚が足りない国があれば満足ゲージが一つ失われる。

・(A・Bどちらかでも!)

・ターンは3年づつ進む。次の漁になったらベルがなります。もし魚があまっても、次のターンには使えません。

・1ターン(3年分)で、漁量回復 残っている魚の数の30%が回復する。

・中央の魚が全てなくなってしまうと終了。また、満足ゲージがなくなった国はそこで終了。

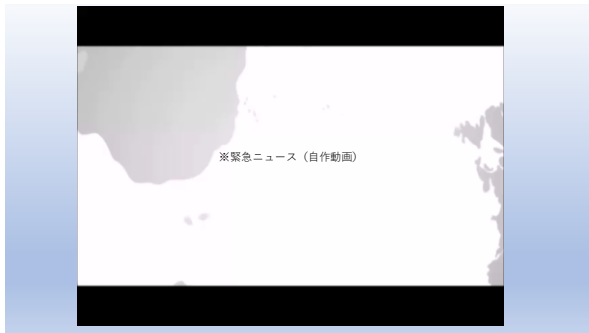
・※チウキはこの国のお金です。上手に使いましょう。

早速 漁に出てみましょう!

魚を捕る順番を決めておきましょう

では 2023年
チウキの漁生活 スタート!

おっと・・・
何やら
緊急放送が・・・



なんと、チウキの海にプラスチックごみが流出してるそうだ……

汚くなってしまった海……

住めなくなったり、プラスチックを食べてしまったパンガが……
排出されるプラスチックの量は毎年年間10万トン……

★ここから毎ターン 海から10万匹のパンガが失われる……

プラスチックごみを海からなくす方法はないのだろうか……

おっと……
何やら
緊急連絡が……

チウキの海から
全てのプラスチックごみをなくすために
新しい活動を始めたい……

しかし、人集めたり開発をしたりで

400チウキ必要……

各国のみなさんどうしますか？

ベトナムのトックさんとパンガシウス



10チウキ

チウキ銀行発行券



通貨↑ 表↓

	2023	2026	2029	2032	2035	2038	2041	2044	2047
パンガ数									
ヒノヒノ									
ナムナム									
コメコメ									
ナカナカ									
総漁獲									
引いた数									
回復量									

イベント用カード

アクションカード

・なんと国内で養殖に成功！中央とは別に2匹パンガをもらえる。先生にもらいに行きましょう！！



アクションカード

・温暖化の影響で、あなたの国の周りのパンガが移動してしまった！ナムナム国へパンガを1匹あげる。



アクションカード

・漁師のあまりにきつい漁の仕事に、なり
てが減ってしまった・・・

1匹中央に戻す。



アクションカード

・シーソーというパンガをお米に乗せた
料理が大流行！パンガ大人気！必要な数
が今年だけ3倍になる

(6匹必要)



アクションカード

・なんと！自分の国からプラごみがさら
に発生してしまった！！

とったパンガを1匹すてるか？

それか20チウキはらってきれいにす
るか？どちらか決めましょう。



アクションカード

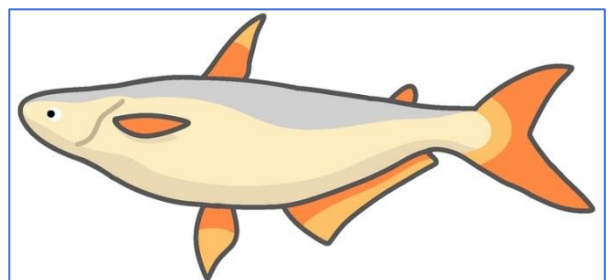
・密漁(みつりょう)ルール違反だが、あ
なたの国で密漁が行われているようだ。

みんなに内緒でこっそり中央から3匹も
ってくる。



ルール

- ・お魚ボックスから1枚ずつ指示カードを引く。←
 - ・とったカードの指示に従い、中央からお魚カードを取って、その国に必
要な分は消費BOXにに入れて国民の満足を保つ。←
 - ・もしも、魚が足りない国があれば満足ゲージが一つ失われる。(A・
Bどちらかでも！)←
 - ・←
 - ・ターンは3年づつ進む。次の漁になったらベルがなります。もし魚があ
まっても、次のターンには使えません。←
 - ・←
 - ・1ターン(3年分)で、漁量回復 残っている魚の数の30%が
回復する。←
 - ・中央の魚が全てなくなってしまうと絶滅。また、満足ゲージがなくな
った国はそこで終了。←
- ※チウキはこの国のお金です。上手に使いましょう。←



パンガ 200匹+回復分400匹

「惑星チウキからの手紙」

振り返りシート

組 名前



① 今回の学習はSDGs何番に関係あると考えましたか？

② トックさんに手紙を書いて見ましょう。